

議会だより

2025.7.17

No. 206

山梨県昭和町議会

<https://www.town.showa.yamanashi.jp/site/gikai/>



しょうわ



表紙写真

コメは宝 秋が楽しみ!

•表題(しょうわ)については「押原中学校 3年6組 奥石 朋花(こしいしともか)さん」の直筆です。

- ② 「こどもたちの未来を支える給食」
～子育て支援と物価高騰への対応～
- ④ 5月臨時会・6月定例会で決まったこと
- ⑤ 委員会質疑
- ⑦ 一般質問 ここが聞きたい
- ⑭ 追跡 あの質問はどうなった

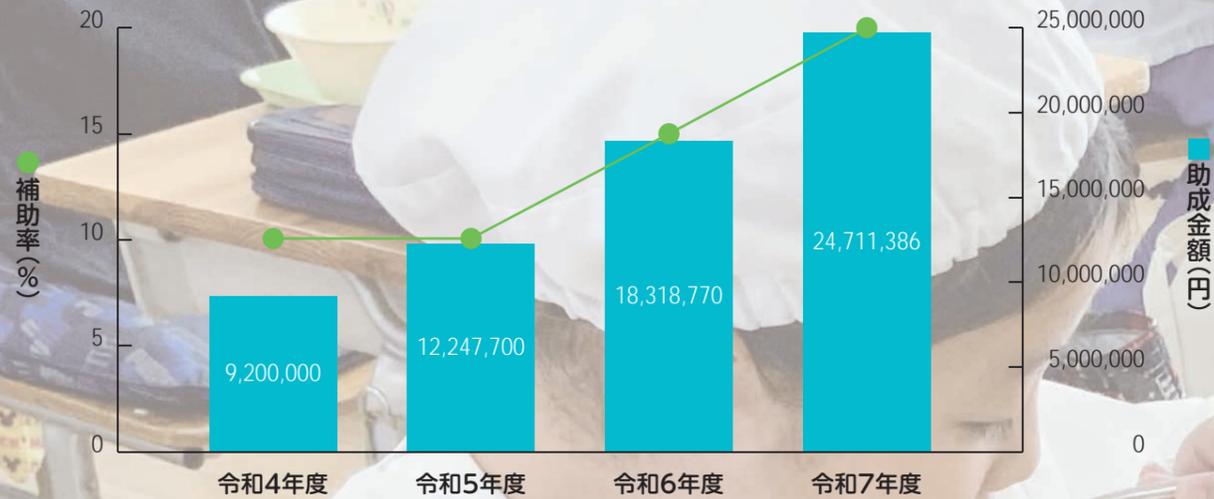
〔表紙写真〕西条小5年生の田植えの様子

こどもたちの未来を支える給食



～子育て支援と物価高騰への対応～

Q 物価高騰における町の支援措置は？



A 臨時対応で給食の質を維持しています

POINT

上のグラフのとおり、物価高騰と無償化のための予算を措置し、給食の質の維持だけでなく満足感を高められるよう工夫しています。



Q 継続的な支援と給食の質維持への取り組みは？

A 子育て支援と物価高騰への対応として、令和7年度においては、給食費無償化の提案があり、可決しました。

県内では、恒久的に無償化する自治体も出てきています。給食センターでは、無償化により最低限の栄養確保にとどまることのないよう、地場産物や行事食を取り入れ、子どもたちが満足できる給食の提供を心がけています。議会としましては、児童・生徒の栄養と安心を確保しつつ、子育て支援の一環としての給食費の負担軽減と無償化に向けた取り組みを、今後も継続していきたいと考えています。



Q なぜ今、給食費支援なのでしょう？

A 背景として、食品を含む様々な物価の高騰により、子育て世帯の保護者の負担が増えています。そのような中でも、本町の将来を背負って立つ、育ち盛りの児童・生徒の栄養確保は欠くことのできない大切な責務であると考えています。

Q 小中学生の給食費の内訳はどのようになっているのでしょうか？

A 各小学校における給食費の内訳

- 月額(11ヶ月換算): 4,905円
- 町助成額: 1,015円
- 保護者負担額: 3,890円

A 押原中学校における給食費の内訳

- 月額(11ヶ月換算): 5,596円
- 町助成額: 1,156円
- 保護者負担額: 4,440円

給食費とは

- 小学校の児童 1食当たりの単価 **284円**
 - 中学校の生徒 1食当たりの単価 **324円**
- 学校給食の運営に必要な費用を、保護者に負担していただいておりますが、内訳は食品の購入費のみです。(光熱費、人件費は含んでいません。)さらに町からの助成が充てられています。

Q 子育て支援と価格高騰に対する現在の町の対応は？

A 3人目以降の給食費助成

義務教育期間中、同一世帯で3人以上の児童・生徒が在籍している世帯に対しては、3人目以降の給食費を全額助成しています。

A 原材料価格高騰への対応

令和4年度以降、様々な原材料が高騰していますが、給食センターの工夫だけでは対応困難になってきています。本町では保護者の負担を増やすことなく、補助のための費用を追加し、児童・生徒の食の安全と栄養の確保をしています。

6月定例会委員会質疑

質問・回答は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

工事の入札結果は
野沢委員 今回のLED化工事にかかわる複数案件を同日、同条件にて行い、すべてが応札（1件1共同体のみの入札）になつてしまったことに対する入札の公平性・競争性・妥当性について問題ないのか。
総務課長 今回の入札に際しても入札検討委員会の中で条件等を打合せ、一定程度の公募期間を設定したうえで入札を行った。工事を今年度中に完成させることが必要であった点で応募が少なかつたと思われる。公平性・競争性・妥当性には問題ないと考える。入札の方法については今後さらに研究を行う

総務教育常任委員会

ていきたいと考える。

町長 本来であれば今回の工事はもっと早くから取り組むべきことであつたが、財源確保の問題から今年度中に工事を終わらせることで国からの起債が利用できることが分かると、利用をすることが分かった。応募そのものが少なく、このような結果となつてしまったことは残念である。

実証実験の申請状況は

野沢委員 昭和町高齢者移動手段確保（実証実験）で5月19日よりタクシー利用券交付申請の受付を開始しているが、現在の状況はどうか。また、今後どのようにして利用



タクシーを利用した実証実験

給食費無償化の周知は

井口議員 令和7年度一学期の小・中学校給食費

者を増やしていくのか。
総務課長 現在52名（対象者の2.3%）の方から申請をいただいている状況である。利用期間は7月から9月末迄なので、ホームページ掲載、広報、毎月の組回覧を通して周知を図っている。さらにいきがいがクラブ等の会合に出席し、説明を行っていく。

欠席届等のアプリ利用は

無償化につづき、二・三学期分も無償化される。町として具体的にどのような情報発信を検討しているのか。
学校教育課長 町のホームページや広報、保護者への通知を通じて周知を行った。通知では、これまで物価高騰に対し約2割の助成を実施してきた旨も併せて伝えている。学校からの通知も検討する。

不祥事の再発防止策は

を共有し電話連絡に変え、学校にはアプリで知らせることはできないか。
学校教育課長 小学校では、集団登校での児童が登校できるか、できないかを紙ベースでの受け渡しにより連絡の徹底が確実に行われることを重視している。各小学校と協議し検討をしていきたい。

井口議員 業務中の飲酒

道された本町において、信頼回復と再発防止の観点から、内部通報制度の見直しや第三者による外部通報窓口の導入を検討しているか伺いたい。

総務課長 状況を鑑みて、検討していきたいと考えている。

（委員：対象委員会所属議員 議員：傍聴議員）

5月臨時会で決まったこと

令和7年5月臨時会は、5月2日から5月8日まで7日間の会期で開催しました。専決処分4案件、契約関係1案件、人事案件1案件、その他1案件の計7案件を審議しました。

案件名	審議結果
【専決処分】(4案件) ●昭和町税条例中改正の件 ●令和6年度昭和町一般会計補正予算(第7号)について ●損害賠償の額を定めることについて ●令和6年度昭和町後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)について	承認
【契約関係】(1案件) ●自動パック式トイレ式購入請負契約締結の件	可決
【人事案件】(1案件) ●人権擁護委員候補者の推薦について	適任
【その他】(1案件) ●消防委員の選任について	同意

6月定例会で決まったこと

令和7年6月定例会は、6月5日から6月13日まで9日間の会期で開催しました。契約関係4案件、条例関係1案件、令和7年度予算関係2案件、その他1案件、請願1案件、議員提案2案件人事案件1案件の計12案件を審議しました。

案件名	審議結果
【契約関係】(4案件) ●押原小学校体育館LED化工事請負契約締結の件 ●常永小学校体育館LED化工事請負契約締結の件 ●釜無工業団地グラウンド夜間照明LED化工事請負契約締結の件 ●西条小学校グラウンド夜間照明LED化工事請負契約締結の件	可決
【条例改正】(1案件) ●昭和町災害弔慰金の支給等に関する条例中改正の件	可決
【令和7年度予算】(2案件) ●一般会計 ●下水道事業会計	可決
【その他】(1案件) ●甲斐市の一部地域に昭和町公共下水道を利用させることに関する協議の件	可決
【請願】(1案件) ●「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願書	採択
【議員提案】(2案件) ●女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書 ●再審法改正を求める意見書	継続審査 可決
【人事案件】(1案件) ●昭和町固定資産評価審査委員会委員の選任	同意

産業厚生常任委員会

牛乳パックのリサイクルは

石原議員 学校給食の牛乳瓶を牛乳パックに変えた理由と、リサイクルはどのようになっているのか。

学校教育課長 牛乳納入業者が仕入れていた瓶の製造工場が廃業してしまつたことから令和7年4月から紙パック牛乳に切り替えた。現在は、そのまま牛乳パックを廃棄しているが、リサイクル等検討していきたい。



4月からビンからパックに変更

マスタープラン等の見直しは

小林委員 都市計画マスタープランは中間年の10年を迎える。また令和7年度の見直し時期となっている緑のマスタープランについての現状を聞きたい。

都市計画課長 西条二区公園や鮎川邸の整備、県の都市計画案(中小河原築地新居線)について関係機関との協議を進め、整備の優先度も踏まえた上で、令和8年度以降に見直しをする。緑のマスタープランも、必要な見直しは行なうべきと考えている。現在は関係者からの意見を聞き推進すべき事業を確認しながら必要に応じてマスタープランに反映して行く方針である。

商工振興センターの利用状況は

保坂議員 昭和町商工振興センターが運営され1年が経過したが、その運営状況は。

環境経済課長 令和6年4月から令和7年3月の利用状況は、合計86件で延べ利用者数は1479名である。予算75万円に対し27.7%の達成率。今後はホームページやSNSでの情報発信を強化する。



利用の伸びが期待される商工振興センター

マイナポータルでの申請は

長田議員 戸籍に関する証明書などを、マイナポータルを活用したオンライン等で申請、キャッシュレス決済できないか。

町民窓口課長 町民の皆様への利便性とサービス向上のため、今年度の10月頃には、窓口でキャッシュレス決済サービスの導入をする予定である。今後、オンライン申請については、慎重に検討していきたい。

児童館等の利用時間の延長は

今澤委員 児童センターの平日開館時間(10時~12時)について、30分~1時間程度の前倒しを望む声が寄せられている。

井口委員 働き世帯の増加に伴い、放課後児童クラブの運営時間(18時30分)

の延長を望む声が寄せられている。子育て支援施策としての今後の対応を伺いたい。

子育て支援課長 児童館職員の人数、勤務体系などを鑑みて、子育て支援に関する新たな課題についても検討していきたい。

にじいろ教室の状況は

海野議員 にじいろ教室(旧駐在所)の状況を伺いたい。

学校教育課長 中央市・昭和町で共同設置したにじいろ教室は、昭和町独自で教育支援センターとして6月16日から旧押原駐在所に開設する。

ここが聞きたい

施策を問う

※質問・答弁はスペースの都合上、要約されています。

一般質問の内容は議会事務局及び8月末更新のHP会議録からも閲覧できます



米国の関税措置による影響を踏まえた本町の安定した財源確保への対応は?

職員一丸となって財源確保に積極的に取り組んでいく



井口 正 議員

井口

町長は今年度の施政方針において、日本経済が回復傾向にある一方で、中東情勢の不安定化や物価高騰により、先行きが不透明であると言及している。

こうした状況を踏まえ、「予算編成では限られた財源を効率的・効果的に活用し、国・県の補助金や交付金制度を適正かつ有効に活用しながら町民サービスの維持に努める」旨が示されている。その後、令和7年4月に報道された米国の関税措置を受け、大手自動車メーカーでは今期業績の下方修

正や大規模な人員削減などの影響が表面化してきている。

自動車関連産業は裾野が広く、山梨県内の大手企業をはじめ中小企業や一般個人にも、少なからず影響を及ぼすことが懸念されている。

これにより、町税(法人税等)の税収減少が懸念されるなど、本町の安定的な財源確保に向けた財政運営の動向に一層の注視が必要である。

このことを踏まえて、本町の安定した財源確保について、どのように考えているかを聞きたい。

町長

米国のトランプ大統領による関税措置により、町の税収入にどの程度の影響があるかは現段階では不明だが、引き続き県と連携を図りながら、情報収集に努めていく。

町の財政状況については、社会保障関連や公共施設の修繕等に対する経費の増加が見込まれ、余裕があると

Screenshot of the town's budget website showing the 2025 fiscal year budget.

▲上のページはこちらから



は言えない状況である。現在、行財政改革実施計画の取り組み状況の確認や各課における主要事業のヒアリングを行い、複数の課において連携して取り組む必要がある事業については、役割分担を明確にし、円滑な事業の推進を図るため、プロジェクトチームを立ち上げ、計画的に事業を執行するように指示したところだ。事務事業の執行については、現在行っている類似の事業や町単独事業の洗い出しを行い、目的・役割・必要性を検証し、一般財源の抑制を図りながら、国・県等の補助金等を有効活用し、行財政改革を推進していく。また、財源の確保については、町の税収入が主なものになるが、引き続き、徴収率の向上に努めるとともに、法人町民税などは景気の動向等に左右される面があるので、持続可能な行政運営を行っていくためには、新たな財源の確保が必要と考え、個人版ふるさと納税事業の強化に加え、企業版ふるさと納税・クラウドファンディング・ネーミングライツ等、これまで以上に財源確保策を推進していくために「ふるさと納税推進課」を新設したところだ。

今後も厳しい財政状況が続くことが予想されるが、町民の皆様が住みやすいまちづくりを進めるため、職員一丸となって財源確保に積極的に取り組んでいく。

(委員:対象委員会所属議員 議員:傍聴議員)

Q 本町における学校の働き方改革を踏まえた部活動改革についての具体的な施策は？

A 調査研究を重ね、部活動の地域展開を積極的に推進し、部活動改革に取り組んでいく



ほしかか たかこ 議員 保坂 貴子

文部科学省は、学校の働き方改革を踏まえ、部活動指導員の配置支援、地域スポーツ文化環境の整備教員の兼職兼業に関する整備を行い、部活動の地域展開を推進し、県は人材バンクシステム運用、周知、効果的な活用のほか、様々な取り組みを通じて県小中学校体育連盟との協議を行っている。

保坂

本町においては、「地域で考える！部活動の地域展開と昭和町の新たな形づくり」と題してワークショップが行なわれ、その際今ま

中学校の部活動においては、競技経験のない教員が担当したり、休日も含めた部活動への対応が求められたりするなど、生徒や保護者の多様なニーズにこたえなければならぬ現状が、教員の業務負担の増大につながっている。

教育長

その中で、働き方改革に伴う中学校における部活動の地域展開について本町では、「昭和町部活動地域展開あり方検討会」を令和4年度に設置し、これまで委員各位のご協力をいただき、様々な課題や運営方法等について検討を進めてきたところだ。

令和5年度には、昭和総合型地域スポーツクラブ「キャメリア」との連携・外部指導者・大学生指導者の導入等が示されたが、これらの国、県、本町のこれまでの取り組みに基づき「本町における学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」具体的な施策を教育長に聞きたい。

再質問

キャメリアを中心に、地域クラブ活動における指導者を確保しているとの回答ですが、キャメリアでの指導者確保は主に運動部中心の指導者であると思うが、文化部等の指導者確保について

また、山梨県が運用を行っている地域クラブ活動等人材バンクシステムであるスポカル山梨についても、山梨県と連携しながら、本町の部活動の地域展開にふさわしい外部指導者の確保のために、今後積極的に活用していきたい。

Q 下校中の児童の交通事故や犯罪被害を減らすための対策は？

A 児童生徒が安全に学校へ通い、安心して学校生活を送れる環境づくりに努めていく



うえうち ゆみ 議員 植竹 由美

植竹

下校中の児童の交通事故や犯罪被害を減らすためには、地域全体で登下校中の子どもたちの見守り活動を行うことが効果的と考える。



子ども110番の家

現在本町では、各学校において、児童が安全に下校できるような、児童館へ行く児童については教員が児童館の職員に引き渡しているほか、自宅に帰る児童については、学校の玄関で見送り後、同じ方面の児童

また、新入学児童へは、防犯ブザーを渡し、身の危険を感じた場合の使用についての指導を行い、全校児童に対して防犯指導や交通安全指導を年間計画により行っている。

学校教育課長

子ども110番の家については、看板があっても、居住していないというような家もあることから、現在更新作業を行っており更新後、登下校、引き渡し訓練時に子どもたちへ周知を進めていきたいと考えている。

再質問

また、小中学生の交通ルール教育は、どのような指導をしているのかを聞きたい。

Q

公共施設の再編計画は？

A

町民ニーズの高い
子育て支援センターから進める



いまざわ ゆきひろ
今澤 幸広 議員

今澤 施設の老朽化など、多くの公共施設を計画的に建設、改修、修繕等、行っていかねばならない状況下、役場庁舎建設を中心に協議、検討がなされてきた。優先順位や財政負担の平準化を図る必要があり、新庁舎建設については、一区切りつきたいとの説明があったが、「昭和町役場庁舎等再編計画検討委員会」の意見集約も含め、どのように進めて行くのか、町長に聞きたい。

町長

令和4年8月に「ありかた検討会」を開催し、役場庁舎を含めた公共施設再編について町の基本的な考え方を説明し、さらには全世帯を対象とした意見募集を行い、幅広い意見をいただいた。また、令和5年11月には、昭和町役場庁舎等再編計画検討委員会を設置し、昭和町役場庁舎等再整備基本構想の策定に向けた議論を開始し、年度内に3回の検討委員会を開催、また令和6年7月に開催した第4回検討委員会において、昭和町役場庁舎等再整備基本構想(案)に対し、概ね賛同してもらった。しかしながら、令和7年度当初予算編成、及び令和6年度3月補正予算編成においても厳しい財政状況は変わらず、今後の事業推進には令和6年度決算の状況や令和7年度の財政状況の見極めが必要であると判断し、本年2月の全員協議会において、昭和町役場庁舎等再整備基本構想について考えを説明した。

Q

西条児童館の早急な改善を

A

より柔軟な受入れ体制を検討するとともに、
創意工夫を図り質の向上と機能の充実に努めていく



のざわ たかお
野沢 敬夫 議員

野沢 昭和町には4つの放課後児童施設があり、中でも西条児童館は平成2年に建設され、平成23年に増築されたものの、屋外の運動スペースが狭くなっている。定員60名に対し約140名を受け入れており、職員7名(全員が有資格者)で対応しているものの、年々支援が必要な児童も増えており、受け入れ規模と職員数のバランスは限界に達している。創意工夫で運営は維持されているが、安全かつ落ち着いた環境の確保は困難であり、町としてこの現状

野沢

をどう認識し、今後どのように対応していくのかを聞きたい。

町長 4つの児童厚生施設及びほたるっこルームは、保護者が就労等により昼間家庭に居ない児童を預かり、適切な遊び、及び生活の場を提供する放課後児童クラブとしての役割を担うことで、日々健全な育成を図っている。定員の倍以上の児童を受け入れて現在の現状については、西条児童館では定員を60人と定めているが、本町では児童館施設内にて放課後児童クラブ事業を行っており、定員は放課後児童クラブの専用室の面積に基づき算出している。実際の運用は、児童館全館を放課後児童クラブ事業に活用しているため、施設全体の面積で算定すると、現状の人数の受け入れが可能となる。今年度は、171人の申し込みがあったが、基準点数や居住地区、保護者の就

一般質問

一般質問

Q

通学路の安全確保
策の取り組みは？
ハード面・ソフト面
での安全な通学路の
実現に努めていく

A

今澤 登下校中の児童の列に自動車が入り込むなど、子どもが犠牲となる大変痛ましい事例が数多く発生しており、子どもの交通安全対策は社会問題ともなっている。本町においても、対策内容の検討や地域との合意形成を進め、通学路の面的な交通安全を実施するなど、1段階、2段階上げたきめ細やかで強固な対策ができないものか。教育委員会として、どのような安全確保策に取り組んでいるのかを聞きたい。

Q

その結果、学校周辺にゾーン30エリアを設置、全赤信号の時間の延長、ポラード、ガードレール、路面標示、立て看板の設置などの危険個所の改善を行ってきた。さらに、各小学校では集団登校時の危険箇所におけるPTAや地域見守りボランティアの協力で子どもたちの安全な登校支援を行っている。

A

教育長 平成26年度に「昭和町通学路安全推進会議」を立ち上げ、交通安全面での改善を関係機関に働きかけてきた。新しい取り組みとして、教育委員会では、通学路点検による危険箇所を路面標示などの簡易な工事を速やかに行うための「通学路安全対策費」を予算計上したほか、「ながら見守り」を実施する。児童・生徒の安全対策に終わりはないと考え、今後もハード面・ソフト面での改善等を継続しながら安全な通学路の実現に努めていく。

再質問

今後、住宅の分譲が進んでいることから、児童が増えることも予想できるので、寄附を受けた旧鮎川邸



西条児童館

を児童館にするという考えはないか。

子育て支援課長 旧鮎川邸の視察を行ってきたが、小さい部屋が多く壁も多いので、職員の目が届きにくいと感じた。また、段差の多さや庭の池など、危険な箇所が見てとれ、児童館として使用するには無理があると感じた。

企画財政課長 現在、活用方法をとりまわとめているところであり、意見のひとつとして承る。

「議会だより しょうわ」を 読んでみて

モニターさんからの意見集



昭和町議会では、議会モニターのみなさんに議会だよりに関するアンケートへご協力をいただいています。今回は「議会だより しょうわNo.205」について、議会モニターのみなさんからいただいた貴重なご意見等をいくつかご紹介させていただきます。

議会だよりしょうわNo.205について、こんな意見をいただきました。(一部掲載)

一般質問について

- 一般質問の内容あるいは要望と予算の内容がマッチしているかどうかに興味を持った。
- 災害時には、トイレは大変重要な役割を担うことになるが、求められるのはトイレだけでなく、温かい食事を提供するキッチンカーなどの配備を進め、段ボールベッドなどととも被災地に迅速に届ける仕組みづくりが必要。

委員会質疑について

- 職員数が不足していると現職員の負担が増え、町民サービスの質の低下が懸念される。原因を特定し、計画通りに人員が確保できることを期待します。
- 町の職員の増加や業務の効率化について定例会の質疑の中で取り上げられていましたが、行政の仕事でなくてもよいものはありません。町民が増えていますがそれに伴い要望も増えていると思います。限られた予算の中で収入の増加と事務の効率化がこれからの問題だと思います。職員の増加の前に、それに向けての議会の活躍に期待しています。

井戸端会議について

- 井戸端会議の意見・要望は、より身近な意見である。事後報告にも期待する。
- 井戸端会議は地域住民の声を拾っており、地域の共通の問題や地域ごとの問題を考える良い機会です。

その他

- 中央公民館の解体、再編について、次号以下で詳細計画を取り上げてほしい。
- 定例会で決まったことはとても大切な事だとは思いますが、何か心に響きません。
- 防災備蓄品の確保に努めていく事はとても重要と思いますので、良い取り組みです。
- 他市町村ではTV中継やネット公開がされているが昭和町では予定されているのか。
- 委員会の傍聴にはレジュメがないが配布してほしい。何を議論しているのか分からない。委員会の傍聴は想定されていないのか。

議会の動き(一部掲載)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 4月 | 7日(月)
春の交通安全運動街頭指導 |
| 10日(木)
広報編集常任委員会 | |
| 13日(火)
町村議会議員研修会 | |
| 15日(火)
町村議会広報編集委員長会議 | |
| 24日(木)
全員協議会 | |
| 27日(火・28日(水)
町村議長副議長全国研修会 | |
| 29日(木)
議会運営委員会 | |
| 6月 | 3日(火)
広報編集常任委員会 |
| 5日(木)・13日(金)
監査委員定期総会及び研修会 | |
| 令和7年第2回定例会
(6月議会) | |
| 10日(火)
広報編集常任委員会 | |
| 26日(木)
全員協議会 | |
| 27日(火)
町村議会議員研修会 | |
| 28日(水)
町村議長副議長全国研修会 | |
| 29日(木)
議会運営委員会 | |
| 5月 | 2日(金)・8日(木)
令和7年第1回臨時会 |
| 8日(木)
全員協議会 | |
| 9日(金)
町村議会議員研修会 | |
| 13日(火)
町村議会議員研修会 | |
| 22日(木)
全員協議会 | |
| 23日(金)
峡中地区都江堰市友好協議会 | |

昭和町議会の全日程表はこちら



Q 集合地と防災標識についての考えは?

A 集合地は地域防災計画等の見直しを含め必要な対応を行い、防災標識の設置については区長会と協議を進めていく



おさだのぶお 長田 信夫 議員

長田 集合地は、各区の公会堂付近が指定されているが、西条新田区、押越区公会堂付近には、指定されていない状況で、公会堂付近に新たに指定してはどうか。指定緊急避難場所は、各学校の校庭等になり、防災標識(押し、押し、釜無公園は確認できず)は設置されていると思う。

しかし、校舎、体育館は避難所にも指定されているが、避難場所の防災標識は無く、地震、洪水時の避難所にも必要ではないか。また、避難誘導は、原則として自主防災会又は各区

町長 西条新田区及び押越区の集合地の指定だが、集合地については令和7年2月の地域防災計画改定時のパブリックコメントにもあり、指定避難所や指定緊急避難場所とは異なり、災害対策基本法に基づいて指定するものではなく、自主防災会である各区と連携し、周囲に建物がなく安全が確保できる場所を選定、位置付けをしている。



避難場所(西条小)

西条新田区及び押越区の集合地の指定だが、集合地については令和7年2月の地域防災計画改定時のパブリックコメントにもあり、指定避難所や指定緊急避難場所とは異なり、災害対策基本法に基づいて指定するものではなく、自主防災会である各区と連携し、周囲に建物がなく安全が確保できる場所を選定、位置付けをしている。

現在設置されている校庭の防災標識は、大規模地震・火災の標識で洪水時は×の表示がしてある。洪水時により校舎が倒壊する恐れは少ないと思われるので、洪水時の避難所となる標識は設置してもいいと思うがどう考えているか。

企画財政課長 まずは広報誌で周知を図りたい。他市町村の標識のあり方や防災会議での意見を伺い設置に向けて進めて行きたい。

議会クイズ

次の問いに教えてください。

小学生1人につき、1食あたりの食材料費は？

正解者の中から抽選で5名の方に図書カードをお送りいたします。



No.205に 対する

こんなご意見をいただきました！

令和7年度予算の一目瞭然のページ、凄くわかりやすい紙面構成になっていると感じました。各分野、色が代わり見やすく、詳細な配分額が記載されており、いいと思います。加えて、「議員はココを見る」のコーナーも注目できる点で、読んでおもしろいです。

メールにて(46歳・男性)

一般会計の項目がわかりやすかったです。ただ、金額の大きさごとに項目の大きさを変えておらず、一定のため重点的に支出されている項目がどこかわかりづらかったです。規模も違うため仕方ないと思いますが(見やすくするために、このような表現になったことはとてもわかります。)

メールにて(37歳・男性)

ほたるんに聞いてみようを読んで、とても参考になりました。我が町は、県内平均よりもかなり主財源が上回っていることです。素晴らしいことですね。これからも適正な税金の使い道を進んでもらいます。ますます昭和町が発展していくことを願っています。

メールにて(65歳・女性)

押越ふれあい広場に駐車場が出来るのが楽しみです。

メールにて(36歳・男性)

今年度の予算について詳しく分かった。

メールにて(35歳・女性)

ご意見をいただいた方には個別に回答させていただいています。

【応募方法】

- ①クイズの答え ②住所 ③氏名(ふりがな)
- ④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想

を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。議会だよりへの要望・意見等もありませんら、お願いいたします。

No.204のクイズの答え 99億1610万円

【あて先】

- 〒409-3880 昭和町押越542-2 昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX:055-275-0370
- メール gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》8月末日 消印有効



メールに移動

6月定例会の初日に、西条小学校の3年生が本会議を見学しました。



西条小学校3年生が議会を見学

5月26日、山梨県自治会館において、町村議会議員を対象とした「町村議会と地方創生」と題した研修が行われました。



山梨県町村議会議員研修会



かんさの部屋

私たちがしっかり見ました



議会選出監査委員
こはやし たけまさ
小林 耐三



代表監査委員
こはやし はじめ
小林 一

【5月検査分】
委員：障害者移動支援事業に係る委託料の不正受給について
管理者：3月24日に全額返還され、261万3078円の入金を確認した。また、別の新聞記事の、不正請求や運営基準違反等を行った介護施設については、返還金を請求している。
委員：民生費△272万2222.8円は社会福祉協議会から補助金が返還されたという事か。

委員：入札関係書類をみると「失格」という業者があるが失格とはどういう事か。
管理者：入札金額の内訳書の添付がなかったため失格となった。
委員：入札点検表には失格理由の記載をするべきである。

管理者：笛吹市の業者。議会には3月定例会にはいつ諮ったのか。
委員：中央公民館解体工事の業者である鈴建興業はこの業者か。契約に関して議事にはいつ諮ったのか。

委員：給食賄材料が高騰しているが、給食センターでは何か工夫をしているのか、決算審査時に説明をお願いしたい。
管理者：確認する。

委員：双方方向通信対応地域コミュニティ放送システム構築業務に1億8千万ほどかかっているが、A-1放送にした事で住民からの意見等があったら教えてほしい。
管理者：確認する。

委員：昭和町役場庁舎等再整備基本計画策定業務委託の内容は。
管理者：役場庁舎等再編計画検討委員会答申(抜粋)や書類により説明。6月議会には情報施設課から説明を行う。

追跡 あの問題はどうなった？

議員の質問に、町当局がその後どのように対応し、どうなっているかを追跡・検証してみました。

追跡

犯罪被害者支援条例制定について！

令和6年9月議会 一般質問 保坂 貴子 議員

問

犯罪被害者が平穏な生活を取り戻すためには、地域に密着した包括的な支援により、社会全体で支えていく必要がある。犯罪被害者支援条例を本町で制定してはどうか。

答

犯罪被害者への支援は、経済的支援のほか、雇用や住宅の安定、相談体制など多岐にわたり、様々な支援策を総合的かつ計画的に推進することが求められる。個人情報保護や対象者の把握などについての課題整理や、関係機関との連携や町民の皆様の協力体制を明らかにするなど、国や県の法令の趣旨に基づき、適切な犯罪被害者支援策を講ずるよう制度設計を行いたい。



被害者条例についてまとめた書籍

こうなった

令和7年3月第1回定例会において、昭和町犯罪被害者支援条例制定の件が上程され、賛成多数で可決されました。本条例は、令和7年4月1日から施行されています。

問い合わせは企画財政課(055-275-8154)まで。



住んでみて



河西区

鶴田 つるた

佳祐 けいすけ

住みよい町、昭和町

私は甲府市で生まれ育ち、結婚を機に昭和町に移り住みました。昭和町で暮らすこと8年になりますが、素晴らしい町だと実感しています。私が昭和町に足を運ぶようになった頃は、田園が広がり緑豊かな印象を受けましたが、今では大型商業施設や飲食店が立ち並び賑やかな街並みになりました。

子育て世代としては、大型商業施設などは設備が充実しているため子供たちと安心して買い物を楽しむことができます。河西区では運動会をはじめとした地域行事やお祭り等もたくさん行われていますが、小さい子供からお年寄りまで大勢参加する中、関係者様や消防団などの協力により安心して楽しむことができます。私の暮らす地域は住民の繋がりがとても強く、地域行事が私の楽しみの一つとなりました。

また、近隣住民との繋がりは近年増加している災害等の有事の際にとっても大きな力になると思います。これからも先人たちが築き上げた素晴らしい町に感謝すると共に、より良い昭和町となるように願っています。



清水新居区

佐藤 さとう

由理 ゆり

魅力あふれる町

昭和町に住んで良かったことは、生活の利便性と自然環境のバランスが非常に良い点です。徒歩圏内に公園や病院、スーパーがあり、子育て時期から車の運転をしなくなった老後まで不安なく生活できます。居酒屋が徒歩圏内に沢山あるので、今は小中学生の子供ですが、成人したら一緒に飲みに行くのも今後の楽しみの一つです。イオンモール甲府昭和をはじめとした大型商業施設もあり、買い物や映画、外食の楽しみは休日の定番です。

また、天気の良い日には富士山が綺麗に見える、子供達も四季折々に変わった富士山の姿を身近に感じられます。アルプス道りや国道20号、高速道路へのアクセスも良く、日常生活や旅行もとても快適です。

静かで落ち着いた住環境で、近所付き合いが希薄になってきている中ですが、転入時は地域の方々も温かく迎え入れていただき、その温かさを私も繋げていきたいと思っています。

編集後記

初夏の風が心地よい季節となりました。このたび、議会広報常任委員会の委員長を務めることになりました。今号から新体制での議会だよりがスタートします。議会の活動を少しでも身近に感じていただけるよう、読みやすく、手に取っていただける紙面づくりに努めてまいります。将来的には、二次元コードを紙面に掲載し、一般質問の様子などをSNS等でもご覧いただけるような工夫も検討していきます。皆さんの声を届ける、そして議会の声も届けられる、そんな「橋渡し」のような議会だよりを目指してがんばります。今後ともご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

広報編集常任委員長 野沢 敬夫

広報編集常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 野沢 敬夫 |
| 副委員長 | 保坂 貴子 |
| 委員 | 今村 力 |
| | 植竹 由美 |
| | 永井 敏男 |
| | 井口 正 |

議会を傍聴しませんか??



次回定例会は

9月4日(木)

開催予定です

【お問い合わせ】

☎275-8842(議会事務局)

